



三小だより

令和5年度 三ヶ所小学校通信

No.6

令和5年
5月18日(木)
文責：古賀正洋

地域とつながる学校

三ヶ所小学校は、様々な場面で、地域とのつながりを感じることができる学校です。今週も、様々な「地域」とつながる教育活動が行われていますので、ご紹介します。

地域の**仲間**とつながるG授業

16日(火)には、町内の小学1年生、2年生が三ヶ所小に集まり、学年ごとに生活科の学習を行いました。このG授業は、五ヶ瀬町の特色ある教育活動で、学校の枠を終えて、子どもたちが交流しながら、豊かな学びを展開します。

今回、1年生は「春の自然探し」を、2年生は「町探検(役場・郵便局)」をしました。それぞれ、仲間が増えて、いつも以上に張り切って学習に取り組む姿が見られました。



1年生



2年生

地域の**環境や暮らし**と触れ合うどろリンピック

同じ16日(火)の午後には、5年生がどろリンピックに取り組みました。田植え前の田耕(たすき)と、子どもたちが水田と触れ合うことを兼ねた活動です。普段はなかなか足を踏み入れることのない水田に入った子どもたちは、最初こそ悲鳴を上げていましたがすぐに慣れ、泥の感触を楽しんでいました。



地域の**歴史や文化**を学ぶ**職員**の地域研修

15日(月)の午後に、本年度転入してきた職員を対象に、地域の歴史や文化を学ぶ「地域研修」を実施しました。講師は、学校運営協議会委員をお務めいただいている藤岡吉照さんです。

今年のテーマは、「日向往還」という旧藩時代の古道でした。当日は、県境を越えた馬見原から、高千穂との境にある越次まで、所々実際に歩きながら藤岡さんに興味深い話をたくさん教えていただきました。

五ヶ瀬で働く者として、この地域の歴史や文化を学ぶことは、とても貴重な経験となりました。



